



おかげさまで85周年。
感謝とともに。未来とともに。

IWATE BANK NEWS LETTER



平成30年2月27日

株式会社岩手銀行
株式会社北日本銀行

～「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」への取組み～ 「第15回リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金」贈呈について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）、北日本銀行（頭取 柴田克洋）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業について、第15回となる今年度の贈呈先が決定しましたのでお知らせします。

記

1. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」について

(1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に、平成16年5月に設立しました。

現在、3金融機関と10研究機関が参画しています。

(2) おもな活動は、「リエゾナーⅠマッチングフェア」の開催、岩手県内の金融機関による「リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金」の贈呈等です。

2. リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金の贈呈について

(1) 創設目的

① 企業等が有する技術・製品開発等のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。

② また、この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を企業等が事業化に向けて研究開発に積極的に取組むことを期待するものです。

(2) 対象先

① 「リエゾナーⅠ」に参画している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。

② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。

③ すでに受賞したことがある企業は原則として申請できませんが、つぎの条件を満たす場合のみ対象とします。

- a 過去に受賞した事業計画の内容と重複していないこと
- b 過去に受賞した事業がすべて事業化されていること





おかげさまで85周年。
感謝とともに。未来とともに。

(3) 贈呈金額

- ① 年間贈呈額1,500万円を上限とします。
- ② 1先あたり200万円を上限とします。

3. 今年度の贈呈について

(1) 贈呈先企業

6社に対し850万円の贈呈を行いました。

なお、贈呈先は別紙『第15回リエゾン-I研究開発事業化育成資金贈呈先一覧』のとおりです。

(2) 現在までの贈呈状況

第1回から第15回までの贈呈件数金額は、延べ99件の1億3,450万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

平成30年2月27日(火)に岩手大学構内(コラボMIU)で開催され、金融機関を代表して岩手銀行田口頭取より6社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾン-I支援機関との記念撮影】



<本件に関するお問合せ先>

岩手銀行法人戦略部 曾 我 TEL: 019-624-8325

北日本銀行営業統括部 菊 池 TEL: 019-626-6482

「第15回リエゾン-I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧
(平成30年2月27日贈呈)

○ 三光化成 株式会社

代表者：代表取締役社長 細川 貴志

住所：東京都板橋区成増1-28-3

(岩手工場：岩手県一関市真柴字小西43番地2)

事業計画名：表面に微細パターンを有する生化学分析装置用射出成型品の開発

共同研究者：一関工業高等専門学校

物質化学工学科 教授 戸谷 一英、准教授 中川 裕子

機械工学科 准教授 原 圭祐、

計画の要約：医療向け分析装置は、血液等の体液成分を検体とし、各種成分の測定を行うことによって、健康管理および病気の有無、未然防止を行うものであるが、分析装置用の容器に特殊なパターンを施すことによって、様々なメリットが得られる。本事業は、その特殊パターンを有する分析装置用容器を、射出成形によって製作することを目的とし、研究開発を行うものである。

贈呈金額：200万円

○ 株式会社 東亜電化

代表者：代表取締役 三浦 宏

住所：岩手県盛岡市浜民字岩鼻20-7

事業計画名：自動車部品に対応したマグネシウム合金の黒色表面処理技術の事業化

共同研究者：岩手県工業技術センター 佐々木 麗

計画の要約：自動車のさらなる軽量化・低燃費化のため、マグネシウム(Mg)合金が注目を集めており、欧米自動車メーカーが先行して採用し、国内自動車メーカーも採用を開始している。本事業では、従来技術と比較して低環境負荷・低コスト化が可能な、Mg合金の黒色表面処理技術を事業化することで、自動車のさらなる軽量化・低燃費化、さらには地域経済への貢献を目指す。

贈呈金額：200万円

○ 株式会社 栄組

代表者：代表取締役 佐々木 孝彦

住所：岩手県遠野市上郷町板沢9-19-1

事業計画名：マルチコプター搭載型コンクリート補修装置の研究開発

共同研究者：岩手大学 理工学部

教授 上野 和之、教授 萩原 義裕、准教授 佐藤 淳、准教授 金 天海

計画の要約：コンクリート補修事業に取り組む当社と岩手大学無人航空システムフロンティア開拓研究グループが、共同で「マルチコプター搭載型コンクリート補修装置の研究開発」を行うものである。これは、既存マルチコプターにコンクリート補修装置を搭載させ、コンクリート補修施工を可能にするもので、足場等の仮設材が不要で省人化が図れるため補修費用が大幅に低減し、補修現場の安全性の向上にも貢献するものである。

贈呈金額：150万円

○ 合同会社 岩手野生動物研究所

代表者：代表社員 西 千秋

住所：岩手県盛岡市山岸字外山岸74-26

事業計画名：百獣の王が解決するシカ衝突事故 ～「獅子威しMAX」の開発～

共同研究者：岩手大学 農学部

動物科学課程 准教授 松原 和衛、准教授 出口 善隆

共生環境課程 教授 小藤田 久義

計画の要約：当社が製造・販売しているニホンジカ用忌避剤「獅子威し」は、現在100倍に希釈したものを液状で散布しており、忌避効果は約2ヶ月である。しかしながら、降雨による流出によって効果が低減するため、長寿命化が課題となっていることから、本事業では、農薬散布に用いられている展着剤を添加することによる効果の長寿命化を検討し、第2世代の忌避剤を開発することとしている。

贈呈金額：100万円

○ 有限会社 南部萱

代表者：代表取締役 村上 史佳

住所：岩手県岩手郡雫石町川原22-1

事業計画名：ジャイアントミスカンサスの生産および販売、将来的な有効利用に向けた研究開発と地域活性化事業

共同研究者：東北農業研究センター 藤森 雅博

計画の要約：本事業では、欧米でバイオマス用として研究および生産が行われている「ジャイアントミスカンサス」を日本の野生種と交配させることにより、茅葺き屋根材を主とする建材用、園芸・鑑賞用、バイオマス燃料用等、様々な用途に適した品種への開発を目指している。現在、東北農業研究センターと共同研究中であり、それぞれの特性・特徴の把握、有望株の選抜等基礎研究完了後本格的な栽培を行い、将来的には全国販売する計画としている。

贈呈金額：100万円

○ 有限会社 及春鋳造所

代表者：代表取締役社長 及川 貢基

住所：岩手県奥州市水沢区羽田町字下屋敷37番地

事業計画名：キュポラ用ハイブリットバイオコークスの開発とそれを用いたキュポラ溶解高Mn高強度片状黒鉛鋳鉄（薄肉・軽量化）の開発

共同研究者：岩手大学 理工学部 教授 平塚 貞人

計画の要約：鋳鉄は、鉄スクラップを使用することからリサイクル性が高い素材として知られている。そのスクラップは、市場から求められている製品性能が多様化しており、含有する成分、特にマンガンについては、強度向上を目的に高張力鋼板等で使用が進んでいる。しかし、鋳鉄の生産においては悪影響を及ぼす場合が増加していることから、本事業では、岩手大学の保有するシーズを活用することにより、課題解決・事業化を進めるものである。

贈呈金額：100万円

以上